

2019年7月号
(通算122号)

全国の先輩の市町村に
「こんにちは」さおりですと
訪問活動中「吉川さおり」



摂河泉 OB

安心・信頼、生きがいあふれる21世紀、みんなと共に！

N T T労働組合退職者の会・大阪支部協議会

発行責任者 中井 秀禮 編集責任者 池尻 貞男

〒553-0003
大阪市福島区福島3丁目1-73
コミュニティープラザ大阪内
Tel. (06)6451-8100
Fax. (06)6136-8126



2018年度 政治学習会・拡大ブロック委員会



摂河泉・クラブ 第2回講座「岸和田城&だんじり会館」 6月14日

雑録六記

さようなら平成 ようこそ令和

令和になって二か月、私たちの生活が大きく変わることはない。令和になり、皇位継承問題が大きく報じられるようになっていく。

安倍首相は、女性天皇に否定的な意見であり、皇室典範の改正や皇族現象の議論が深まることはない。しかし、日本国憲法によると

・天皇の地位は主権の存する日本国民の総意に基づく

・皇位は世襲のもの とされている。

世論調査によると、一九七五年には女性天皇を容認する声は三割しかなかったが、最新の世論調査では七割以上が容認するという国民の声が上がっている。これも、女性の社会進出が進み、男女平等という考え方が少しずつ浸透してきた結果ではないかと思う。しかし、まだまだ男女不平等が続く世の中であるが、令和は女性もつと活躍できる時代・孫たちにとって戦争のない平和な時代であることを願うばかりである。余談ですが、和暦と西暦を使う日本では変換をするのに苦労する。しかし「令和」ではあまり悩まなくてもよさそうですよ。「018(レイワ)」と語呂合わせで覚えると、五月から始まる(令和)元年(一年)なら「018」+「1」で「(20)19」といった具合に簡単に変換できる、とネットで噂になっています。ちなみに昭和生まれの人は和暦に二五を足すと西暦になりますよ。試してみてください

y. O 文責

参議院議員(全国比例)候補者

「吉川さおり」の必勝を誓い合う

Ⅱ 現役、退職者の会が中之島公会堂に約一、〇〇〇人が集うⅡ



六月一二日
(水)中之島公会
堂前には、仕事
帰りの現役組合
員や退職者の会
(大阪・奈良・

和歌山・京都・滋賀)各地域会員、
更には「吉川さおり」を応援する友人
が会場を埋め尽くした。

開会では、嶋本情報労連大阪地区
協議会議長、中央からは、情報労連
本部副議長(喜井執行委員長)、連合
大阪を代表して、山崎会長が次々と
応援の言葉を送り、参議院議員大阪
府選挙区に立憲民主党から「かめい
し倫子」の応援演説と併せ、自らが



※かめいし倫子氏は、「北海道ドコ
モ」での仕事を経て、京都で弁
護士へのチャレンジ。難関を突
破して弁護士に。弁護士活動の
中での矛盾、改善点などは、国
を変えること、躍起し「今回立
憲民主党」からの出馬を決意。

激戦区の大阪府で戦う決意を参加者
に強く訴えた。

結びに、「吉川さおり」と共に頑張
ると決意を述べた。参加者から満場
の拍手に包まれ次の会場に向かつ
た。

いよいよ「吉川さおり」の決意表
明、その前に吉川議員の友人代表の
応援演説があり、会場は笑いと拍手
で、和やかでもあり、輪の広さが伺
えた。

会場に響く大きな拍手に迎えら
れ、「吉川議員」から決戦まで、残さ
れた月日は、二ヶ月を切った。

巨大与党に対峙する政党は必要で
あり、これまで支えて頂いた全国の



みなさん、特に
関西の仲間のみ
なさんの応援に
は勇気と元気を
頂いている。
思い返せば、
大学時代のアル
バイトは、運輸
(株)で荷物出し



入れ等、早朝か
ら深夜近くまで
働いたこと、就
職氷河期に多く
の先輩の応援も
ありNTTへ入
社し、大学院に
通うなど苦学の
中で経験したこ
とが、政治の世界に飛びこむきつ
けとなったと語る。

政治を通して法律を変える、制度
をさらに良いものにする、この情熱
は今も変わらないし歩み続けて二
年である。

最近の安倍政権は、公文書改ざん、
障害者雇用の水増し、統計不備等、
その不備、不正を正し、国民に報告
するための委員会、又、国会の開催
を申し入れをするも自民党、安倍政
権は行わない姿勢であり、許されな
い行為。



誤りは、与野
党を超えての修
正論議があり、
国民に正しく伝
えてこそが「国
会」の正しい運
営である。「数
の力ですりたい
放

りを感じませんか」と力が入る。
そして、「変えよう政治の流れを
国民の目線で取り組む政治に」と訴
える。

三期目の 吉川議員の考えを次の
ように示した。

大きく 三つの柱は、

①いきる 社会保障

就職氷河期時代の問題点

七〇四〇問題

親が七〇代 子供が四〇代

共倒れの場合どうする問題

四〇代五〇代の引きこもり問題

等深刻である。

②つなぐ 情報通信

二〇三〇年時代の情報通信の姿
について議論を進めており、来年
も関連法案が国会提示される見込
み、筆頭理事として引き続き対応。

③まもる 消防防災

情報伝達のあり方とその手段、
市町村の防災体制把握や災害心理
を考慮する必要性等多岐に渡り国



会での追求し、
改善を求めている。
国民の生命、
財産、身体を守
るための取り組
みを更に進めて
ゆく。

危機管理の今後の取り組みについて(考え方)

2018年度危機管理プロジェクト会議(2019.4.15)を開催し、幹事会(2019.5.23)で今後の進め方について、考え方の意識を合しました。今後の活動の進め方を、以下の通り提起し、特に「個人情報管理・情報セキュリティ管理」を各ブロック委員会においても、理解、認識して、責任ある運営・管理を行うことを拡大ブロック委員会(2019.6.7)全体で確認した。

記

1.2018年度危機管理プロジェクト会議(2019.4.15)で整理した事項

- ①危機管理プロジェクト会議(2019.4.15)をもって答申を幹事会に示す。
- ②今後は、幹事会で答申をもとに進める。
- ③大阪グループ連絡会と連携を密にして迅速に行動をする。
- ④大阪支部協議会 第22回定期総会で「危機管理マニュアル」の全容を示す。

2.答申内容について

- ①日常的管理「会員・その家族」のデータ管理・整備を6月末以降速やかに実施する。
- ②50人組の連絡網の整備・管理 6,340名のブロック別のすみ分けを行う。
- ③最低把握しておく情報(データ)・氏名・居住場所・電話番号(固定&携帯)
- ④任意で把握しておく情報を6月末で集約後、速やかに整理する。
・第2連絡先(地震災害に全国各地で役立つ)・第2連絡先の整備を進めている。(全国各支部協取り組み)

3.保管管理の基本

- ①大阪グループ連絡会と大阪支部協議会(幹事会)の連絡網 ②大阪支部協議会(幹事会)とブロック委員会の連絡網
- ③ブロック委員会【4ブロック】内の電話連絡網を整理、維持管理。

4.データ整備(年間)

- ①毎年6月末の会員数を基本とする。 ②年間での異動は、原本で行い、常に該当ブロックに伝達できる体制を維持する。

5.50人組の基本

- ①ブロック委員1人=50名会員との連絡。 ・元気コール(安否確認) ②会員異動連絡・処理方法

政治学習会 & 拡大ブロック会議報告

2019.6.7
(PLP 会館)

2018年度の政治学習会 & 拡大ブロック会議をPLP会館で開催した。今回の講師に西岡友和吹田市議会議員を招いての第1部、第2部は参議院議員選挙「吉川 さおり」必勝の闘い方、選挙情勢を四ブロック委員会が意識統一を行うことを目的に開催した。

司会に第1部：岡田事務局次長、第2部：議長に杉町副会長(泉州ブロック長)を選出した。

第一部 司会：岡田事務局次長

会長あいさつの要旨

- 1.第19回統一自治体選挙【4月】での「吹田市議会選挙 組織内候補西岡友和」が、みごと当選を勝ち取ったこと。その原動力は、本人、家族、そして支える地域応援の勝利である。応援する退職者の会 大阪支部協議会は、ボランティア活動を基本に北摂ブロックに軸足を置き、各ブロックからの支援で進めた結果でもある。この努力に感謝を送りたい。
- 2.我々は、衆参同一等の動きがあろうとも既定方針通り、①吉川三選必勝への全力投球 ②情報労連・NTT労組が推薦する候補の必勝 ③連合の推薦候補の必勝を「現退一致」で取り組むことである。
- 3.支部定期総会へ向けた後半の活動を着実に実践し、更には、「将来を見据えた組織の在り方」についても、議論が必要と考える。

西岡市議員(吹田市議会)

- 1.当選までの道のりと苦労の連続、しかし、多くの支援があればこそその当選があり、感謝に堪えない。
- 2.打ちひしがれ、折れ曲がるときは、家族に支えられ、職場の仲間にも激励される中で4年間「朝立ち」「夕立」「支持者宅訪問」等、着実に一歩一歩、歩んできた。
- 3.退職者の会の皆様からの暖かいボランティア活動(労苦を惜しまず)には、頭が下がる。
- 4.しかし、大阪維新の会の候補は、吹田市に転入イキなり、人物も政策も判らない中でトップ当選、どこか違うと思う。又、戦争発言をする衆議院議員も元維新の会で維新は、「自民党の補完勢力」であることを市民、住民は理解できているのか疑問、ゲーム感覚でどこか間違っている。4年後に向けて日々頑張り、吹田市民の生活向上に向けた政策の提言をする。と元気よく新人議員の意気込みを訴えた。(満場の拍手)中井会長と力強い握手を交わした。

第二部 杉町副会長

幹事会報告を行い、特に①吉川 さおり組織内候補必勝のボランティア活動の具体化、②結成20周年四ブロック懇親会の報告、③危機管理の今後の進め方について報告・意識統一と確認を行った。

次年度へ向けての「拡大ブロック会議」を続けることを検討する。



政治学習会で
講演する
西岡吹田市議会議員

全国交流集会

全国交流集会に参加

北摂ブロック 加藤 慶子



行く前は、不安だったが事前学習会があり、各ブロック6人が初顔合わせ。当日は、新大阪で待ち合わせ、女性2人が喋りすぎ快晴の富士山を車窓から見るのも忘れ、伊東に到着。大阪2人、愛知2人、和歌山1人の同部屋で会ったり、大阪の「のり」はすごい！すぐわかると言われ意気投合。

「退職者の会」の歩みは歴史が分かり、「会」と「会員」との課題はむずかしい問題だと痛感。

分散会では、約23名ずつ6部屋に分かれ自己紹介、活動報告があり、皆さんの話が長く時間オーバー、夕食時のパフォーマンスを考える時間もなく「沖縄琉球空手」の攻撃と受身の技を練習もなく披露……。カッコよく決め……。沖縄の皆様ありがとう。

1日目は忙しく不参加だった「吉川参議院議員」が夕食時に出席。そのおかげでツーショットで写真も撮れ、気さくな人柄が伝わりより親近感がもてた。

参加してみれば、楽しく、交流を通じ「退職者の会」の趣旨が分かり、これからは前向きに取り組もうと思った。

全国交流集会に参加して

なにわブロック 益田 晃宜

全国交流集会に参加するにあたり、支部協において事前学習会があり、中央協議会主催で「学習」「交流」が目的で開催されることを認識して集会に参加しました。123名の各支部協からの参加者を6グループに分けた分散会では、メンバーから活動報告があり、現役社員が減少する中、退職者の会への新規加入が伸び悩み、ブロック委員等の担い手が見つけにくいとの意見があり、この課題解決が重要であると感じました。

吉川参議院議員の講演では、年金問題について厚生労働省では昨年4月から議論が始まっており、今国会で審議すべきところであるが、参議院選挙を控えた今を避けて来年の国会で定年を70歳まで延長する法案をあわせて提出しようとしていることが話されました。

今回、集会に参加して、近畿地区をはじめ愛知・埼玉・宮崎等のメンバーや、中央協議会の方たちとも懇親を深めることができ大変有意義なものとなりました。

全国交流集会参加報告

河内ブロック 岡本 博文

2019年5月8日～10日 静岡県伊東市にて開催されました全国交流集会に参加してきました。

一度は参加してもいいかな？と思っていたところ指名がかかり、同行者の1人も気のあった相手だったので参加しました。(大阪支部協で6名、全国で約130名程参加)

初日14時より、中央協の石原会長の「支部協は、自由な発想を持ち主体となる役割で、中央協はそれを支援するまとめ役です」との挨拶がありました。次に、特別講演「NTT労組の現状と課題」と「NTT労組退職者の会の概要と当面の課題」の後、オリエンテーションと交流会(夕食会)がありました。

2日目午前中、特別講和「接続可能な社会保障」と健康体操があり、昼食後1グループ20名で6グループに分かれて、テーマ「会と会員のコミュニケーション」で分散会が行われました。

自分のグループで福岡地域協の代表世話人によれば、1人15名の会員を受け持つ世話人(8人)同士の繋がりを強める必要性を感じている。又、顔写真入の名刺を作り会員に渡しているとの事。

どの地域でも会員とのコミュニケーションに苦労しているのが

よく判りました。

吉川さおり参議院議員の「国会情勢と決意表明」が電波法関連で多忙な為前日欠席だったが、夕食交流会に参加されました。



富士山の出迎えに感激

泉州ブロック 東 明宏

参加当日の待ち合わせ時間が気になり、前夜は、ほとんど眠れず始発のバス電車を乗り継ぎ約1時間30分、新大阪で参加の皆さんと会えて一安心。車窓からの富士山がきれいに見え、3日間の始りに相応しい天気であった。会場に到着後、現役時代の先輩にも会え、昔懐かしい話に華を咲かせました。

2日目、吉川さおり議員が元気な姿を見せてくれ、関西出身であり一層身近な存在と感じました。47支部協議会の皆さんとの意見交換ができ、互いの心意気が、同じを実感しました。

両日の部屋別交流は、大阪支部協議会から支部協の有志に声を掛け、埼玉、京都、滋賀、奈良、和歌山が参加を頂き、夜遅くまでの意見交換ができました。次の日に支障なきよう勤めました。

交流会終了後、帰路に就く前に参加者6名が、樹齢2千年と言われる大楠のある来宮神社を参拝、十国峠では、少し雲の掛かった富士山の勇壮な姿をパチリ、わが眼に焼き付けた。

全国交流集会を振り返って

河内ブロック 村上 寛

伊東市に交流集会に参加することに対して複雑な気持ちのまま新幹線に乗りましたが、途中雪が7合目まで積もった富士山が見えて、気持ちがハッピーになりました。

石原会長挨拶の中で中央協の課題を各支部協が中心になり、独自性をもって取り組んでいくことが大事だと言うことが話されました。

特別講演については、年金給付額が物価上昇率より下回る「実質手取りが減額」になることが、印象に残りました。退職者の会員も124,000人に増え、いろんな災害に対しても支援カンパが出来るのも組織力の大きさだと思われます。

健康認知体操では、「茶摘み」の童話でパタカラを歌ったのが楽しかった。各支部協の意見交換では、特に奈良県支部協だよりを手配する時に、80歳以上の方に2,000円相当の記念品を手渡ししており他の支部にない事でいいやり方だな～と思いました。

交流会では、吉川さおり参議院議員が見えられるとあいさつに大賑わい、三選必勝を祈ります。分散会は、いろんな踊りがあり楽しかったです。

交流会に参加できたことを感謝します。お世話になった皆様方ありがとうございました。

全国交流集会に行きました

なにわブロック 天野 喜代子

全国交流集会に5月8日～10日間で参加しました。伊東市伊東ホテル聚楽にて盛大に開催されました。特別講演は、どれも参考になる話ばかりで、特に「年金・介護」等の話は、子・孫にも関係することなので真剣に聞きました。分散会では、参加されている方々は、皆様凄い肩書をお持ちの方で、自己紹介及び各会の活動等もスラスラと話されて(少し長い)・大変参考になりました。帰ってからマネ(?)実行したい事がたくさんあり、大変勉強になった3日間でした。行く前は、心配で嫌でしたが、

今は、良い経験になり、行って良かったと思います。

ありがとうございました。

拡大支部代表会議報告 2019.5.29-30 東京全電通労働会館

拡大支部代表者会議は、昨年11月からこれまでの活動経過並びに今後の参議院議員選挙闘争への「一致団結した戦い」を確認し、3期目の吉川さおりの必勝を満場一致で確認しました。

石原会長：

1. 吉川さおり3期目の挑戦は、現在紹介者カードの回収状況20~30%程度で3年、5年前と同様の状況であり、より一層の会員と家族との総対話の取り組みが必要である。
2. 被災カンパの取り組みは、現・退一致の取り組みで、被災者に届ける手続きが順調に進んでいる。
3. 各地ブロック会議、全国交流集会で報告を受けた「手配り」「安否確認」が順調に拡大している。(会員とのコミュニケーションをより深めること)。引き続き、2018年度前半の取り組みと全国総会へ向けての課題を川辺事務局長から報告、提案され満場一致で確認された。

○前半の主な内容

1. ブロック会議、2. 全国交流集会、3. その他

○ブロック会議での議論を踏まえた全国総会への課題、参議院議員選挙活動の動き

- (1) 吉川3期目の挑戦への宣伝活動 各会報誌、イベントでの取り組みを強化。
- (2) 紹介活動は、一部を除いてまだまだ頑張りが必要。
- (3) 電通共済の切り替え時期、お元気コール(安否確認)、お元気ですか訪問活動を最大限活用した総対話の展開。
- (4) 現役との交流を含めた「政治学習会」「家庭訪問」政策実現集会等の連携強化。
- (5) 紹介者カードは、自前解決で自らが紹介者への得票活動を実施、また「ひろがりネット」を最大限の活用する

○会と会員とのコミュニケーションの充実について

- (1) 支部協議会の主な取り組み
全国の支部協は3日以上上の常駐体制の確立
- (2) 会員とのコミュニケーションの拡大と充実
- (3) 支部協ニュース活動の充実
- (4) 女性会員の活動への参加・支援・参画・充実

○課題 … ① 参加者の固定化、若手が参加少ない

- ② 役員なりて不足
- ③ 女性の役員なりて、サークルの活用等
- ④ 高齢者有料ホーム等入所した会員への対応

○会員拡大 … グループ連絡会との連携、加入説明会への参加の減少

○緊急連絡先の情報提供依頼活動

支部協議会によって濃淡がある地域での情報共有する。
もしもの時の一報(手帳末尾掲載)



石原会長挨拶

風水害に伴う「見舞金」の 直接手渡し業務完了しました。

(該当407名/手渡し者400名)

全国から寄せられた心温まるカンパをお見舞金として、第1次、第2次、第3次に分け該当する会員に直接手渡しすることができました。

また、辞退された7名の会員の気持ちをNTT労組中央本部で預かり、基金として活用する準備を進めています。

摂河泉・クラブ

2019.6.14(金)

第2回 岸和田城 & だんじり会館

参加者64名集合、お天気も何とか我慢をしてくれました

梶原担当(泉州)からの注意事項があり、会長あいさつで歴史探求の始まり、2班に分け「だんじりコース」、「お城めぐりコース」で出発。松浪ガイド他6名のガイドで、商店街をゆっくりと進むと数年前にカーネーション(NHK)連続ドラマでも有名な建物は、現在工事中。最近開店したコシノ3姉妹が経営する食堂があるなど、岸和田のコシノ家は健在。この駅前でもだんじり開催の9月には50-60万の観光客が訪れるという。年々人気は、上向きだとか。大工方、やり回しの話は、後ほどにして、お城までの道をてくてく歩き、岸神社の社殿、岸和田高校を經由して岸和田城へ、当時5層(現在は3層)石垣は、修復がされ(過去の台風で崩れた石垣を修復)

城天守閣3階からの眺めは、アベノハルカスが見えるなど眺望はまずまず、ただし、ところどころ階段があり、「あーしんど」の声も聞こえ…。

だんじり会館は、歴史と実物の展示、法被のかずかず(各町の町紋)だんじり1基は、1億以上の値打ちもの。修理も大変とか、(寄付)大工方、テコ等の安全の習得は、教えも、習いも体で覚え、伝えるとのこと。伝統文化そのもの、譜面がないので「耳と指そして体」にしみこませるそうだ。会館を出て、15時30分駅前で解散。お疲れ様でした。梶原 一郎担当
次回7月は、認知症予防PLP会館です。(池田城説明:出前勉強会)。



「核兵器廃絶1,000万署名」の 取り組みについて

私たちは、核廃絶と恒久平和をめざして日本政府と
国連に対して

- 2020 年 NPT 再検討会議で、核兵器廃絶への着
実な道筋について合意すること。
- 「核兵器禁止条約」について、日本政府は早急に
批准すると共に、各国政府がその発効をめざし、
未来世代に対する役割を果たしていくこと。
- 2020 年までに世界中のあらゆる核兵器の廃絶を
実現する。

期 間

2020 年 1 月 31 日まで用紙は、別途お渡しします。

目 標

退職者の会会員は、家族・親族を含め多くの署名（自筆）
を集めましょう。2 名以上が基本です。

あて提出

国際連合 事務総長
日本国 内閣総理大臣

呼びかけ団体

日本労働組合総連合会（連合）
原水禁日本国会議（原水禁）
核兵器廃絶・平和建設国民会（KAKKIN）

2019大阪高齢者集会 6/4

いきいきと安心して暮らせる社会にしよう！！

退職者の会会員が、500 名結集して、年金改悪、都
構想反対、高齢時代の政策実現を市民に訴え「中之島
公会堂」まで元気よく行進した。

第 1 部 記念演奏

大正琴の演奏 「大阪なにわの会」

第 2 部

主催者代表挨拶 林会長開会の言葉

連合大阪代表挨拶 山崎会長挨拶

○来賓あいさつ

日本退職者連合代表 林事務局長

政党挨拶

かめいし 倫子

参議院議員選挙

大阪府選挙区予定候補者

ドコモ北海道出 現在弁護士

関西系のテレビ出演等で活躍

国民民主党代表あいさつ

参議院議員大阪府選挙区候補予定
にしやんた氏

必勝決議を行う中井副会長（NTT 退）

デモ行進

1～3 梯団

大阪支部協議会は、第 2 梯団先頭



必勝決議提案する中井会長



かめいし 倫子 立憲民主党大阪副代表



大阪支部協第 2 梯団（先頭）



大阪支部協独自の平和行動IN舞鶴（六・一一）

世界記憶遺産「舞鶴引揚記念館」

舞鶴を含めて、六六〇万人に及ぶ
引揚者の受け入れを全国十数箇所港
で昭和三三年までの一三年間その就
いた場所での一つである。「語り部」
さんは、特にシベリアでの抑留者の
悲惨な日常生活を、ジオラマを指し
示しながら、情熱的に語ってくれた。
実際の軍服に触れ、兵舎の实物模
型に座れるなど…。先の大戦で、兵
士、抑留者及び海外からの引揚者の
労苦について、是非とも親から子供
そして孫たちにと次の時代へ語り継
ぐことが大切であると語り、この会
館は、その目的のために建設されて
いる。

広島原爆記念館も今年、実際の被
覆や当時の日用品も展示し、触れる
体感型に衣替えしたと語る。
参加者四四名は、食い入るように
して、説明を聞き、胸を詰まらせる
ブロック委員の横顔が印象的に残っ
た。軍用倉庫「赤レンガ」は現在、レ
ンガの歴史を展示されており、世界
のレンガが一堂に保管され触れるこ
とのできるのは、世界でも舞鶴だけ
である。会館の周囲は、海上自衛隊
のイージス艦等が数隻停泊してい
る。憲法論議の自衛隊基地である。
（第八管区海上保安本部も隣接）。
一日という時間軸の中での「支部
独自の平和行動」でし
たが、是非ご家族とと
もにもう一度足を運ん
でほしい。参加者一
人一人からの三〇〇字
程度の感想文を期待し
ている。

西浦 豊 担当

人の動き

新しい仲間です

(敬称略)

【河内ブロック】

山中 英志
秋山 修
浅井 栄一
今井 豊彦
岩隈 隆義
植村 博光
宇佐美 健一
内田 啓三
裏山 恵三
遠藤 美由紀
應治 祥弘
大窪 文雄
大谷 透
尾崎 保美
乙野 清和
甲斐 正彦
金田 隆明
川戸 康博
川端 清子
木崎 寿夫
北田 利美
北本 光啓
小林 善美
齊藤 清毅
酒井 務
阪口 真人
佐々木 志磨子
重松 良和
下川 博隆
杉岡 輝美
住本 典幸
高垣 博幸
高倉 和子
高倉 久美
武富 隆士
竹中 千栄子
田島 初子
谷 敏昭
谷口 明
塚本 秀樹

【北摂ブロック】

寺本 勝憲
中 馨
中尾 友洋
中田 公三郎
長谷 恵三
中村 則雄
中森 敦子
西井 絹子
西田 栄三
西谷 彰
西脇 弘
林 崇子
福田 一男
前田 猛
真木 宏
町田 慶嗣
松川 剛
松原 真喜子
三木 英二
水口 登志子
三井 まり江
宮武 政美
宮富 信明
矢野 久美子
山口 肇
山田 浩一
山本 博文
山本 博之
讓尾 英機
吉田 千恵美
吉村 和義
吉村 勝
和田 隆則
和田 敏明
加藤 明彦

【泉州ブロック】

浅井 宣博
東 秀雄
有馬 雅之
石川 久男

【北摂ブロック】

赤井 和夫
明原 悦朗
阿部 重信
荒木 茂隆
安藤 康則
池袋 弘
井関 豊一
糸井 高明
井端 芳嗣
岩本 強
植仲 泰宏
大西 圭子
大平 正志
岡田 直人
奥地 かつお
奥本 信博
桂 潤二
川口 俊一
黒田 良幸
後藤 謙二
島田 幸治郎
高木 昇
高村 裕二
竹内 充弥
竹本 建計
中村 勇
西口 照夫
西村 信二
西山 薫
野崎 英次
野田 明孝
橋本 賢次
旗手 幸一
東 泰之
平松 晴久
深井 光代
藤井 増男
松木 和男
宮崎 康慈

【なにわブロック】

相原 和彦
赤坂 京子
足立 行信
天川谷 好文
池田 勝三
石橋 豊治
伊藤 昌一
稲留 季美
岩本 好一
植月 博子
宇城 明義
宇田 隆徳
扇 理恵子
大倉 正人
岡島 利夫
小田 寿夫
小野 孝則
角川 清治
川上 敏仁
川越 保
木村 昌弘
熊野 修
小泉 晃
小林 祐喜子
今野 香代
杉村 健作
杉本 茂
高木 英男
竹内 美乃
竹原 幸雄
多田 明子
友枝 二郎
鳥居 勝馬

【なにわブロック】

三輪 森
八川 矢野
山本 兼吉
吉田 悦子
英一 秀明
周治 広吉
博之 保宏
悦子
中嶋 永松
中村 西矢
野田 濱岸
濱田
智英 晴恵
辰己 雅昭
吉信 義和
達夫 明男
林 速水
原 比嘉
藤井 古林
前田 正岡
慶子 恵美子
和人 次男
和義 一雄
昌彦 義明
宮本 村上
村山 山下
山中 山本
吉川 成開
斎 民子
満里子 保幸
修 成開
【直轄】
栗塚 八千代

お悔やみ申し上げます

2019年4月18日～6月7日までに頂いた訃報連絡です

掲載については、ご辞退されるご家族もありますのでご理解ください。

谷脇 久子	2018年8月13日	85	泉州
大井 専助	2019年2月6日	85	河内
川畑 仙二	2019年2月11日	90	河内
美原 慶蔵	2019年2月20日	83	なにわ
前田 宏	2019年3月8日	72	河内
浜田 実	2019年3月17日	92	北摂
竹内 誠司	2019年3月19日	67	河内
室田 敏雄	2019年3月26日	90	北摂
芦田 宗久	2019年3月31日	70	北摂
宮武 愈	2019年3月31日	90	河内
盛田 幸熙	2019年4月1日	79	河内
松田喜代治	2019年4月1日	89	泉州
筒井 孝	2019年4月14日	79	岡山県
池堂正治	2019年4月17日	93	河内
篠原 武	2019年4月18日	78	北摂
巽 重雄	2019年4月18日	68	北摂
切原 清次	2019年4月19日	72	河内
吉田 功	2019年4月28日	79	北摂
平山 俊郎	2019年4月28日	64	河内
寺内 修	2019年4月29日	83	なにわ
矢野 繁利	2019年5月3日	66	泉州
重田 貴美子	2019年5月4日	89	北摂
田村 和夫	2019年5月5日	66	北摂
中村 忠夫	2019年5月5日	89	泉州
藤井 恭男	2019年5月6日	69	木和田市土
今井 茂	2019年5月20日	86	河内
生野 暢城	2019年5月26日	87	なにわ
喜多 健介	2019年5月28日	90	なにわ
西野 喜佐子	2019年5月	79	なにわ
足立 勝	2019年6月7日	80	なにわ

ありがとう基金 おめでとうございます

(会員入会時の出資金 5,000円を元にして運用しています。)

5月

米寿

東 英一(河内)
中村喜美子(なにわ)
真崎 登(なにわ)
行広 昭子(泉州)
森方 芳(泉州)
四方 誠子(なにわ)
神山 武雄(なにわ)
井尻 齊(河内)
吉川 一男(北摂)
岡 俊一(なにわ)
高橋 正和(なにわ)

喜寿

中村 行男(河内)
東 佑吉(泉州)
宇野 国義(北摂)
正木 結一(泉州)
小谷 紘昭(なにわ)
小寺 一雄(河内)
向井 陸雄(なにわ)
安達千余子(北摂)
矢倉 和子(泉州)
八田美智子(泉州)

小川 一美(北摂)

沢田 義子(北摂)

宇津原 昭(北摂)

荒川 宣子(河内)

大成 雅尚(北摂)

松村 武文(なにわ)

土井 均(河内)

大平 雄喜(なにわ)

立石 満郎(泉州)

柿谷 浩史(泉州)

佐伯 博之(北摂)

吉倉 正治(北摂)

杉田 務(河内)

津田 正幸(河内)

大井田 孝(なにわ)

齊藤 弘之(泉州)

古希

辻中 達男(北摂)

山本 豊(河内)

後藤 忠氏(なにわ)

上野 哲(河内)

伊東 正(河内)

山本 千栄(なにわ)

森脇 秀和(河内)

吉田 栄子(愛知県)

脇田 喜和(北摂)

塚本 良雄(三重県)

高嶋 晴夫(河内)

岸本 憲光(河内)

大伴 博(北摂)

峯松 茂(北摂)

吉野 博(泉州)

安長 功司(なにわ)

安井 明司(なにわ)

平野 彰一(なにわ)

山中 義明(河内)

伊藤 悟(なにわ)

大江 幹夫(北摂)

落溜 政子(泉州)

村上友規子(泉州)

吉田 芳和(愛媛県)

山田喜久子(なにわ)

長坂せつ子(泉州)

黒田美登利(泉州)

高橋 清治(泉州)

福山 孝和(河内)

高橋えつ子(なにわ)

大山 健一(なにわ)

谷口 静明(泉州)

2019.6.1

情報労連 全国統一環境一斉行動
南港野鳥園

情報労連 大阪地区協議会 全国統一 環境一斉行動 「南港野鳥園」に250名の組合員その家族、退職者の会会員が清掃作業に集合。嶋本議長(関西総支部執行委員長)の挨拶後、吉川さおり参議院議員、西岡吹田市議会議員と共に全員で環境整備をスタートしました。



南港野鳥園展望台(観察所)は、平成30年7月台風では窓枠まで波がしら迫り床まで海水が侵入。干潟の中も3つの干潟が一つになるなど、鳥たちも戸惑いを隠せな様子と館長の言葉。回収成果は、200袋(80L×200)袋。【お花のポット、キャラメル紙袋、あめの小袋多数、ハッポースチロールのクズ(鳥の最大の敵)が大量に散乱】

ブロックからの発信



姿勢がよくなる体操

児島 明季子

姿勢がよくなり、肩凝りや腰痛が楽になる「さとう式リンパケア」の体操を2月から大阪駅前第2ビルの大阪生涯学習センターで開催してました。久しぶりの講座開催だったので、なにわブロック委員会の時に皆様にお声がさして頂くと、「講座を受けてからみんなで昼ご飯を食べに行こう」と声を上げてくださった方のお陰で、沢山の方がご参加頂きました。

(この2つをするだけで簡単にできる姿勢改善)

なにわブロック

泉南 歴史探訪 海会寺跡と榎井古戦場跡

杉町 亨

南海本線岡田浦から東へ約1キロの小高い丘の上に、海会寺跡があります。伽藍は既になく、礎石のみが発掘され復元されています。発掘によって「法隆寺式伽藍配置」を採用する寺院の様子、また寺院の隣に営まれた豪族集落の構造および変遷などが明らかになった。「わが国古代寺院の実態解明にとって、非常に重要な遺跡」と評価され、国史跡に指定される。

遺跡跡から大阪湾を見下ろすと、榎井古戦場跡が見えます。大阪夏の陣、最後の激戦地。大阪方は大野主馬を主将に2万の大軍、徳川方は和歌山城主浅野長晟率いる約5千。両主将の地形の判断、作戦の差が明暗を分け、元和元年4月29日(1615年)大阪方は敗北し、5月7日堅牢だった大阪城も落城した。

一泉南市教育委員会hpより引用—



史跡 榎井古戦場跡



発掘、復元された海会寺跡

泉州ブロック

愛のカンパ メ切は、今月7月31日まで

多くの会員からのご支援ありがとうございます。

愛のカンパ振込「郵便手数料」が改正され、支部財政もなかなか厳しい状況です。じわじわと値上げする「安倍政権」、えー！ここまできたかと怒っています。

拡大ブロック委員会に出席して

岡本 和子

6月7日ブロック委員会が開催された。早朝からの大雨で悪天候にも関わらず大勢のブロック委員が出席され熱意が伝わって来ました。第1部では、政治学習会「吹田市市議会議員にしおか友和氏からの講演で、地道に地域密着した活動をつづけてきた、西岡氏にとって大阪維新の会というだけで大量に票を悠々取り、天狗になっている議員たちがいることに憤りを感じての話でした。

そういった人たちの不祥事が多く選挙の際の人選びが大切と痛感させられました。

第2部の拡大ブロック委員会では、危機管理マニュアル作成の重要さとその取り組み、ブロック活動の発表などがあり、初めての委員会に参加し、よい経験が出来ました。会議終了頃には、傘も不要な状況となり会場を後に帰宅の途につきました。

河内ブロック

泉州の人情物語

松田 陽子

「お城 & たんじり」街歩きを参加 64 名で 2 班に分かれてスタートをしました。先にたんじり会館見学になりましたので、少し、たんじりの「歴史や岸和田市民の人情深い話」お話をします。たんじり祭りには、女性の活躍も見られるとか、岸和田の女性の多くが「婦人会」に属し、炊き出しや休憩後の片付けを担当する、多くの岸和田市民が、なんらかの形で祭りに参加しているそうです。「岸和田に人情家が多いのは、たんじり祭りでの家族意識・連帯感から生み出されたもので、たんじりは息が合わないとか動かへんで」と泉州の方からお聞きしました。若衆が、笛や太鼓を上手に演奏する映像を見て驚きました。岸和田の子どもたちは幼いころから青年団の練習を見学して覚えるとか。すごいですね。会館の女性からも、赤ちゃんが「お腹におるときから笛や太鼓を聞いているので、やはり小さい頃から、リズムを自然に体(お腹)が覚えているかもしれませんよ」とにこやかに語ってくれました。

勇壮な「たんじり祭り 9/14-16」を楽しみにしています。お疲れ様でした。

お知らせ 次回 7 月は、「認知症」の勉強会 (PLP 会館)

北摂ブロック

2018年度 ウォークラリー あなたの記録と 感想文待ってます

2019年6月3日 藤田 文治



今年のウォークラリーは、堺市の大仙公園・日本庭園にて5月21日(火)晴天のもと開催された。開催直前のニュースで、大仙公園に隣接の仁徳天皇陵古墳等が世界文化遺産への登録がほぼ決定と伝わり、開催を心待ちに…。しかし、約1週間前の天気予報では、21日(火)“雨”でした。開催の3日前予報も“雨”、さらには、前日の予報ではひよっとしたら開催できる天候になるかもと信じ、当日の朝になって、実施を確信しました。それは、晴れだから…。

午前10時から大仙公園内に、69名が集合し、金高副会長の開会の挨拶、続いて実行委員会より当日の行動説明と注意事項を周知、全員が整然と隊列を組み日本庭園へウォークを開始しました。

園内を午前11時頃から12時過ぎまで散策。しかし、日本庭園内は展示植物の入れ替え時期で期待していた“見事な花盛り”の状況では無く、ちょっと残念でした!! 昼食は庭園近くの芝生広場で、各ブロック持参のシートを敷き、昼食を取りました。昼食後は、自由解散し、帰り道には、仁徳天皇陵古墳・周回通路を通り経て、JR三国ヶ丘駅から帰宅しました。私の当日の歩数は12277歩で5月の最高値。

全員が怪我無く、和やかな雰囲気の中で締めくくられたことに感謝いたします。ウォークラリー担当の任務は、これから、皆さんの歩数記録、感想文の取りまとめがあります。大変ですが頑張ります。少しお待ちください。